

### 3) 成績の評価

①各科目の成績は、原則として年2回の期末毎に、「評定」の形で評価する。

注) 同一名称であっても、末尾にⅠ・Ⅱの記号が付されているものは、それぞれ別の科目として取り扱う。

②成績の認定は、期末試験の他、出席率・確認テスト・課題・レポート・検定取得状況・平常の授業態度・本人の向上心等を考慮し総合的に判定する。

③成績評価はA、B、C、Dの4段階とし、A、B、Cを合格とする。

A＝科目に対する理解及び日常の学習状況が極めて優秀な者。(80点以上)

B＝科目に対する理解及び日常の学習状況が良好な者(70点以上79点以下)

C＝科目に対する理解及び日常の学習状況がやや劣る者(60点以上69点以下)

D＝科目に対する理解及び日常の学習状況が著しく劣る者(60点未満)

④前・後期末試験

前・後期末試験については必ず受験しなければならない。公欠以外の欠席は全て再試験となる。また公欠の場合は追試験を受験しなければならない。

⑤再試験

a. D評定の科目を持つ者は学習の機会を与えて再試験を行う。

b. 再試験に合格した者は、評定をCとする。

c. 再試験の実施は1度のみとする。

⑥成績表

各期末に成績表を作成し、保護者又は保証人に郵送する。

### 4) 成績評価に係わる指標の算定方法

学科ごとに成績分布状況を把握するため、半期終了時点で履修した全ての科目についてシラバスに記載されている評価基準に基づき点数化(100点満点)し、合計した上でその平均点を算出する。